

演
題

「後期日中戦争」期の中国戦線 太平洋戦争の裏で何が起きていたのか？

日本人は、日中戦争を未だ知らない。



1937年の盧溝橋事件、南京事件や38年の重慶爆撃までは有名だ。しかし、41年12月の太平洋戦争開戦後、中国戦線で日本軍がどのような作戦を展開していたのかは、対米戦の陰に隠れ、意外な程に知られていない。主要作戦に従軍し続けた名古屋第三師団の軌跡から、泥沼の戦いとなった中国戦線の実像を気鋭の中国史研究者が描く。空白を埋める新たな日中戦争史！

講師 広中一成さん



(ひろなか・いっせい)

1978年、愛知県生まれ。2012年、愛知大学大学院中国研究科湖士後期課程修了。博士(中国研究)。現在は愛知大学非常勤講師。専門は中国近現代史、日中戦争史、中国傀儡政権史。

著書：「後期日中戦争 太平洋戦争下の中国戦線」(最新刊・角川新書)、ほか「傀儡政権、日中戦争、対日協力政権史」(角川新書)、「冀東政権と日中関係」(汲古書院)、「通州事件 日中戦争泥沼化への道」「牟田口廉也『愚将』はいかにして生み出されたのか」(星海社新書)など。

参加費無料

2021年**12月12日(日)**
13:00 開演～(12:45 開場)

千葉市生涯学習センター
(地下1F 小ホール)

(注) 会場の規定により、定員は40名です。
メール・電話予約、及び当日先着順です。

千葉市中央区弁天3丁目7番7号
JR千葉駅「中央改札」を降りて、「千葉公園口」から徒歩8分

